

取材ノートから 記者余論

記事を読んで、問いに答えましょう。

①都道府県別移住希望地ランキングで静岡県が3年連続1位になった理由は何でしょうか。

②問①のような結果と並行して、「転出超過」が拡大したとも言われています。なぜこのような相反する現象が起こるのでしょうか。

③「転出超過」に歯止めをかけるために必要なことを考えて書きましょう。

就業受け皿整備推進を

県内移住希望者の 受け入れ態勢強化

新型コロナウイルス禍でリモートワークが普及し、地方に移住したり、首都圏との「拠点を生活」をしたりする人が増えている。そんな中、認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京）が移住相談者を対象に調べた2022年の都道府県別移住希望地ランキングでは、本県が3年連続となる1位を獲得した。

同センターや県によると、20〜70代以上の幅広い世代が本県への移住に高い関心を持っているという。観光地の伊豆や、新幹線が停車する三島、富士、静岡、浜松などの評価が高い。首都圏とのアクセスの良さを

はじめ、温暖な気候、豊かな自然に恵まれ、子育てしやすい環境にあることが人気の主な理由だろう。

静岡市はニア層の相談者が増加した。コロナ禍の行動制限がなくなつたことが要因とされ、同市の相談



移住ラニアで地域の魅力を発信する市の担当者（1月、都内）

員は「医療や交通が充実している地方都市を希望する傾向がある」と分析する。移住希望者に実際に移住してもらうため、移住ラニアなどで本県の魅力をPRしながら、ニーズに応じた受け入れ態勢を強化することが重要だ。

一方、総務省が1月末に公表した22年の人口移動報告によると、本県は転出者が転入者を上回る「転出超過」が21年より拡大した。県によると、大学進学を機に県外に出る若者が多く、10〜20代の転出超過が毎年6千人ほど発生しているという。一度地元を離れた若者をつなぎ留めておく取り組みが欠かせない。県内就業の受け皿の整備を進め、若者が故郷で地域活性化の一翼を担える環境づくりに期待したい。

（東京文社・青木功大）

取材ノートから 記者余論

就業受け皿整備推進を

県内移住希望者の受け入れ態勢強化

新型コロナウイルス禍でリモートワークが普及し、地方に移住したり、首都圏との「拠点を生活」をしたりする人が増えている。そんな中、認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京）が移住相談者を対象に調べた2022年の都道府県別移住希望地ランキングでは、本県が3年連続となる1位を獲得した。

同センターや県によると、20〜70代以上の幅広い世代が本県への移住に高い関心を持っているという。観光地の伊豆や、新幹線が停車する三島、富士、静岡、浜松などの評価が高い。首都圏とのアクセスの良さを

はじめ、温暖な気候、豊かな自然に恵まれ、子育てしやすい環境にあることが人気の主な理由だろう。静岡市はシニア層の相談者が増加した。コロナ禍の行動制限がなくなつたことが要因とされ、同市の相談



移住フェアで地域の魅力を発信する市の担当者（1月、都内）

員は「医療や交通が充実している地方都市を希望する傾向がある」と分析する。移住希望者に実際に移住してもらうため、移住フェアなどで本県の魅力をPRしながら、ニーズに応じた受け入れ態勢を強化することが重要だ。

一方、総務省が1月末に公表した22年の人口移動報告によると、本県は転出者が転入者を上回る「転出超過」が21年より拡大した。県によると、大学進学を機に県外に出る若者が多く、10〜20代の転出超過が毎年6千人ほど発生しているという。一度地元を離れた若者をつなぎ留めておく取り組みが欠かせない。県内就業の受け皿の整備を進め、若者が故郷で地域活性化の一翼を担える環境づくりに期待したい。

（東京文社・青木功大）

記事を読んで、問いに答えましょう。

①都道府県別移住希望地ランキングで静岡県が3年連続1位になった理由は何でしょうか。

観光地の伊豆がある。／新幹線が停車する市の評価が高い。
首都圏へのアクセスの良さ／温暖な気候／豊かな自然 など

②問①のような結果と並行して、「転出超過」が拡大したとも言われています。なぜこのような相反する現象が起こるのでしょうか。

シニア層で医療や交通の充実している静岡に移り住みたいという希望を持っている人が多いが、大学進学や就職で県外に出る若者も多いから。 など

③「転出超過」に歯止めをかけるために必要なことを考えて書きましょう。

若者に対して地元に残ってもらえるように、魅力的な企業や会社の紹介をしたり、教育機関（特に大学）の充実を図ったりする。 など